

職場決議 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年9月1日

組織名【 全医労熊本支部 】

施設名【 熊本医療センター 】

職場・所属【 】 37名

【賛同者の名前やメッセージなど】

私たち医療従事者は白衣を戦争の血で汚(けが)さないという理念を持っています。戦時中、看護婦にも赤紙が来ました。生命を守る仕事に従事している者として日本を戦争へと再び導く戦争法案には絶対反対です。

日本は憲法九条を認め、70年間戦争をせずに来られたことは歴代の首相の努力と国民の思いがあったからだと思います。戦争の犠牲となるのは多くの国民です。自国を守るという方便の下には戦争という悲惨な事態が起こるのは間違いありません。

